

## 同声会演奏会出演者プロフィール

### 井上ゆかり (ソプラノ)

徳島市生まれ。徳島中学校、徳島県立城ノ内高校、東京藝術大学卒業。同大学院修了。第47回全日本学生音楽コンクール大学・一般の部全国1位受賞。二期会オペラスタジオ修了。新国立劇場オペラ研修所第1期修了。2001年より、文化庁在外派遣研修員、ロームミュージックファンデーション奨学生としてイタリアミラノに留学。帰国するまで多数のコンクールに入賞し、欧州にてオペラコンサートに出演。

国内では、小澤征爾指揮ブッチーニ『ラ・ボエーム』のミミ、ジョン・ミンフン指揮藤原歌劇団公演ビゼー『カルメン』のミカエラ、東京二期会公演モーツァルト『魔笛』のパミーナ、新国立劇場の公演に出演する他、「題名のない音楽会」やFM「名曲リサイタル」等TV・ラジオの出演、コンサート、第九演奏会にて多数のオーケストラと共演している。2007年より徳島市在住。2007年国民文化祭開会式にて『君が代』独唱、鳴門『第九』のソロ、リサイタルや親子のためのコンサート等に出演。2012年阿波文化創造賞、2013年とくしま芸術文化奨励賞受賞、2016年よんでん芸術文化奨励賞。声楽を若槻佳子、岡部多喜子、毛利準、磯貝静江、高丈二、アドリアーナ・マリポンテの各氏に師事。徳島文理大学音楽学部非常勤講師、名西高校芸術科非常勤講師。東京二期会会員。

### 松平 幸 (ソプラノ)

徳島県徳島市出身。徳島市立加茂名中学校、県立城北高等学校卒業。その後、広島大学教育学部第四類音楽文化系コースを経て東京藝術大学声楽科に進学、卒業時に同声会賞受賞。永井和子、故松永美紗、大田黒啓子の各氏に師事。瀧廉太郎記念第18回全日本高等学校声楽コンクール徳島県大会、大阪音楽大学ザ・カレッジ・オペラハウスにて行われた大阪音楽大学幸楽会推薦演奏会、第55回徳島県音楽コンクール高等学校声楽部門の各コンクールで金賞を受賞。

2013年8月、あわぎんホールで開催された「ぞうれっしやがやってきた」コンサートにて象使いの娘を演じる。

### 柚友恵子 (メゾ・ソプラノ)

徳島市出身。徳島市立高校卒業。東京学芸大学在籍後、東京藝術大学卒、同大学院修了。東京ミュージック&メディアアーツ尚美修了。第20回日本声楽コンクール入選。声楽を稲富祐香子、毛利準、高橋修一、大國和子、成田勝美、伊原直子の各氏に師事。東京二期会本公演では「ウリッセの帰還」ペネロペ役、「魔笛」侍女Ⅱ役、「フィガロの結婚」ケルビーノ役、「リゴレット」チェプラノー伯爵夫人役、「イル トロヴァトーレ」イネス役に出演。神奈川県民ホール・びわ湖ホール共催「ワルキューレ」グリムゲルデ役で出演。各地の市民オペラでは「カルメン」カルメン役、「アイダ」アムネリス役、「イルトロヴァトーレ」アズチーナ役、「蝶々夫人」スズキ役、「ヘンゼルとグレーテル」魔女役等出演、好評を博している。2015年より文化庁巡回公演に参加し、オペラ「てかがみ」(池辺晋一郎作曲)で近畿、四国を巡回した。郷里徳島では2013年9月にあわぎんホールにて市民コンサート徳島主催でソロリサイタルを開催。クラシックを気軽に楽しめる東京銀座のピヤホール「銀座7丁目音楽ピヤプラザライオン」<<http://www.onpla-lion.com/>>レギュラーメンバー。東京二期会会員。

### 戸邊祐子 (メゾ・ソプラノ)

千葉県野田市出身。東京藝術大学音楽学部声楽科卒業、同大学院修士課程オペラ専攻修了。二期会オペラスタジオ第41期修了。修了時に最優秀賞および川崎静子賞受賞。第49回全日本学生音楽コンクール東日本大会第3位。オペラではモーツァルト『フィガロの結婚』(マルチェリーナ)、『皇帝ティートの慈悲』(セスト)、『コジ・ファン・トゥッテ』(ドラベツラ)、ブリテン『真夏の夜の夢』(ヒポリタ)、R.シュトラウス『エジプトのヘレナ』、フンパーディンク『ヘンゼルとグレーテル』(魔女、ゲルトルート)等に出演。その他第九やミサ曲等のアルトソロとしても出演。2006年より徳島市に在住。嶺貞子、竹村靖子、竹内功・昭子の各氏に師事。名西高等学校芸術科非常勤講師、東京二期会会員。

### 野間 愛 (メゾ・ソプラノ)

徳島県出身。徳島県立徳島北高校、徳島文理大学短期大学部音楽学部を経て徳島文理大学音楽学部声楽科卒業。第48回全四国音楽コンクール第2位。第32回中・四国新人演奏会に出演。その後、東京藝術大学音楽学部声楽科を卒業し、同大学大学院修士課程オペラ専攻を修了。現在、同大学大学院博士後期課程オペラ専攻に在籍中。研究テーマとしてロッシーニのオペラにおける装飾歌唱の声楽技術の習得を挙げ研修を積んでいる。これまでに稲富祐香子、熊谷公博、永井和子の各氏に師事。東京芸術大学バッハカンタータクラブOB。毎年夏と冬に開催される小林道夫氏のアカデミーに参加してご指導を受けるなど、オペラだけでなく宗教曲の勉強にも力を入れており、今後はオペラ公演や演奏会企画などを行なっていくと同時に、日本語作品の演奏や日本語によるオペラの製作などにも力を入れていきたいと考えている。ロッシーニ協会会員。よんでん奨学生。

### 小川明子 (アルト)

埼玉県熊谷市出身。東京藝術大学卒業、同大学院修了。文化庁オペラ研修所第10期修了。1992年第61回日本音楽コンクール第2位。1993年第4回奏楽堂日本歌曲コンクール第1位ならびに山田耕筰賞受賞。1997年より文化庁派遣芸術家在外研修員として1年間ウィーンに留学。ベートーヴェン『第九』、ヘンデル『メサイア』、バッハ『マタイ受難曲』などの宗教曲やマーラーの交響曲第2番『復活』、『大地の歌』などで多くのオーケストラや合唱団と共演。『早春賦 日本歌曲選2』など6枚の日本歌曲のCD(ピアノ山田啓明)をリリース。高橋啓三、渡邊高之助、戸田敏子、毛利準、アデーレ・ハースの各氏に師事。東京二期会会員。

### 稀音家治乃 (長唄三味線)

徳島県出身。東京藝術大学邦楽科長唄三味線専攻卒業、鳴門教育大学大学院修了。藝大卒業時に稀音家流家元より稀音家治乃の名を許される。平成17年に(徳島県邦楽推進委員会)を発足させ、各種学校や教育機関において演奏会や実技指導を行っている。また(邦楽を愛好する子ども育成会)のボランティアスタッフとして子どもを対象とした三味線教室(はじめての三味線)を主宰、第27回国民文化祭・とくしま2012「こども夢日本の音でつむぐ阿波のおはなし」をはじめ演奏会等に出演、日本伝統音楽の次世代継承者の育成に力を注いでいる。長唄三味線を貴音抄太郎、東音菊岡裕晃、東音味見亨、東音田島佳子、東音戸川絵美、長唄を東音浅見文子、東音市川春子の各氏に師事。長唄稀音会(徳島)、春幸会(高知)主宰。鳴門教育大学嘱託講師。(社)長唄協会。徳島県邦楽協常任理事。

### 松岡貴史 (作曲・ピアノ)

長崎県出身。東京藝術大学作曲科卒業、同大学大学院修了。作曲を長谷川良夫、平吉毅州、小林秀雄、南弘明の各氏に師事。1981年ドイツ学術交流会(DAAD)の給費留学生として渡独、デュッセルドルフ音楽大学でギュンター・ベッカー氏に師事。これまでに1982年シュトゥットガルト市作曲奨励賞、1985年エルディング・オルガン曲国際作曲コンクール第1位、第30回徳島県芸術祭最優秀賞(1996年)他の受賞。作品は国内の様々なコンサートの他、ヨーロッパを中心に海外の音楽祭でも取り上げられている。2012年と2016年に松岡みち子と共に「中国・四国の作曲家 in 徳島」コンサートをプロデュース。また長年にわたり自作をはじめとする現代曲や声楽の伴奏等、ピアノ演奏活動を行っており、ピアノ作品も多い。鳴門教育大学名誉教授、徳島文理大学非常勤講師。日本現代音楽協会、日本作曲家協議会会員。

### 松岡みち子 (作曲)

東京都出身。東京藝術大学音楽学部作曲科卒業後、東京藝術大学音楽学部作曲科非常勤講師(作曲科研究室助手)。ドイツ、デュッセルドルフ音楽大学留学。作曲を長谷川良夫、南弘明、北村昭、甲斐説宗、近藤圭、ギュンター・ベッカーの各氏に師事。第30回徳島県芸術祭最優秀賞受賞、2002年東京国際室内楽作曲コンクール3位入賞、第14回奏楽堂歌曲作曲コンクール入選。作品は日本の他、ライン音楽祭(ドイツ)、国際室内楽フェスティバル「クラング・フリーリング」(オーストリア)等、海外の音楽祭でも取り上げられている。現在、徳島文理大学音楽学部非常勤講師、日本作曲家協議会会員。

### 山田啓明 (ピアノ)

大分県別府市出身。東京藝術大学楽理科卒業、ウィーン国立音楽演劇大学指揮科修了。1995年プザンソン指揮者コンクールで2位入賞。98年に帰国後は国内のアマチュアオーケストラ、オペラの指揮を中心に活動している。ピアノを加藤公康、辛島輝治、T.クロイツベルガー、声楽を小松英典、音楽理論を野崎哲、角倉一朗、指揮を安永武一郎、高階正光、U.ライオヴィッツ、P.シュヴァルツ、またオペラ伴奏法をH.ゲルツ、K.ライトナーら各氏に師事。国立大学法人鳴門教育大学大学院准教授。2015年、第7回とくしま芸術文化奨励賞受賞。

### 米田佳子 (ピアノ)

鳴門教育大学卒業。同大学大学院修了。これまでに、仁志ひとみ、井下洋子、マインハルト・プリンツ、森正の各氏に師事。

声楽・合唱・管弦楽器等の伴奏ピアニストとして、県内外で幅広く活動している。2008年には、阿南市にて2台ピアノのリサイタルを開催。「阿南第九の会」のピアニストを務めている。長年に亘り、「グリーン・コール」の伴奏者として活躍のほか、数多くの演奏会に出演。鳴門教育大学大学院学校教育研究科嘱託講師。